

三業の再生 — 菩薩としての再生と旅立ち — (四版)

仏のいのちの生死なり  
菩薩の三業修証せん  
身口意の三業

臨終その時言葉は止まる  
寺僧を請してお剃刀  
そして仏の経を誦す  
それより口業の再生あらん

お葬儀つとめて葬るも  
供養のまことに姿を示す  
その場に身業再生見たり

七七日に応供を学び  
悲しみ聊か癒えんとす  
一切導く旅へと立たん  
その時意業の再生成らん

食香

得度

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文